

平成 28 年度 学校目標

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	①これまでの教育成果をふまえ、きめ細かな学習指導のできる、教育課程と学習環境の充実を進め、学力の向上を図る。 ②自ら学ぶ力を育成するため個々の教員の授業力・教育力の向上を図る。	①一人ひとりが目標を持ち、着実に努力し、成果をあげることができるよう、進路希望別クラス編成を推進する。 ②ICTやアクティブラーニング等を取り入れた、生徒参加型授業を推進する。	①進路希望別クラス編成(アドバンスクラス、普通クラス)やスポーツリーダーコースの特徴・目標を明確化し、それぞれに必要な教材・題材を検討し効果的な学習指導を行う。 ②校内研修を計画的・組織的に進め、生徒の主体的・共働的学習活動やICTを取り入れた授業を相互に検証し外部機関との連携による授業改善に取り組む。	①進路実績や生徒アンケート、生徒による授業評価 ② ・学習到達度テストや外部模擬試験の結果 ・外部評価とその検証 職員による相互評価と検証
2 生徒指導・支援	①『一人が一校を代表する』という考えのもと、規範意識や基本的生活習慣の定着を図り、教育相談体制を充実させ、『いじめ問題』等への迅速かつ継続的で適切な対応を行う。 ②部活動等を通し人間力、自主性や実行力、リーダーシップ等の育成を図る。	①生徒一人ひとりが自己肯定感を持ち、積極的に社会に参加し、他を思いやる心を育てる。 ②特別活動・委員会活動、生徒会活動等全般を通して、生徒の活動の場を確保し、個々の社会性・自律性の育成を目指す。	① ・定期的な学年集会等を通して、自己の規範意識や自律心の醸成を促し、学校全体の取り組みとする。 ・教育相談・個別支援体制やいじめ防止に対し、研修を通じて職員全体への周知と能力の向上を図る。 ・心身の健康や生活習慣を自主的に管理できる能力を育成する。 ② ・学校運営の柱としての部活動を通して生徒の基本的な生活習慣およびリーダーシップの育成を目指し、主体的な活動を促しその活性化を図る。 ・生徒会行事を通して、生徒の企画・運営力、協調性を養成する。	① ・学年集会の実施回数と指導内容 ・全体研修やケース会議の実施回数や研修内容 ・生徒によるアンケート ・健康課題の把握と指導状況 ② ・1年生の全員部活動加入状況。 ・部活動の活動状況と実績。 ・生徒会行事における生徒の主体的な活動状況。
3 進路指導・支援	生徒一人ひとりの進路希望に応じたきめ細かなキャリア教育を実践する。	3年間を見据えキャリア教育を計画的に推進しきめ細かな指導体制を整え、自己実現や進路実現を目標に、進路実績の向上を図る。	・FOMの狙いを明確にし、分野別進路ガイダンスを充実させ、進路指導の成果をあげる。 ・生徒個々の進路に関するデータを作成し、学年・グループによる組織的進路指導に活用し、進路希望の実現を図る。 ・進学補習や長期休業中の講習を充実させ、生徒の進路希望の実現を図る。 ・大学や地域企業との連携を通して「生きる力」の育成に努める	・進路実績や指導内容、指導経緯 ・ガイダンスの実施回数と生徒や保護者の満足度 ・各種補習・講習の実施状況や参加状況 ・インターンシップへの参加者数や参加状況
4 地域等との協働	地域の意見を積極的に取り入れ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	①開かれた学校づくりの推進のため、適切に地域の意見を取り入れるとともに学校情報の発信を行う。 ②授業、部活動、ボランティア活動、学校行事等を通して地域との共生・協働を推進する。多様な人々との交流・連携を通して、社会性・公共性を養い「生きる力」を培う	① ・学校運営協議会の導入を進め、積極的に地域の意見を収集し、自治体や保護者、他校との連携に努め、その意義や成果を地域に発信する。 ・地域の各学校間での交流を進め、相互の理解と連携に努める。 ・地域の防災拠点として、職員・生徒の防災意識を高め、地域と連携した災害時の体制を整備し、積極的に地域との連携を進める。 ② ・地域のボランティア活動の情報提供に努め、生徒各自に積極的に参加を促す。 ・部活動単位による、ボランティア活動の積極的なバックアップに努める。 ・山高祭に地元参加団体を積極的に招致する。本校の取り組みを地域の方々に理解してもらうとともに、本校が地域に開かれた学校であることをPRする。	① ・地域活動への参加回数、部活動実績の把握、HPのアクセス数および更新回数 ・学校と地域との交流回数やその状況 ・交流回数と生徒の参加状況 ・保護者や外部の評価内容と評価者数や実施回数 ② ・ボランティア参加回数及び延べ参加人数とその状況。 ・山高祭の地元来場者数。 ・山高祭地元参加団体の状況。
5 学校管理 学校運営	①教職員の計画的な人材育成、個々の資質・能力の向上を図り、学校全体の教育力の向上を目指す。 ②重点課題総点検結果を検証し、事故・不祥事防止の徹底に努める。 ③県立高校改革に基づいた、学校運営を推進する。	ICTやアクティブラーニング等を推進するための校内研修に計画的・組織的に取り組む。 ②重点課題総点検結果を検証し事故・不祥事防止の徹底に努める。 ③学校のミッションを全職員に周知し、学校全体の取り組みとする。	OJTを積極的に取り入れ、計画的な校内研修を行い、資質・能力の向上を図り、人材育成に努める。 ②重点課題総点検の結果を踏まえて、職員への啓発活動を計画的・組織的に展開する。特に入学者選抜における不祥事を根絶する。 ③ ・平成29年度入学生の教育課程の作成を行い、学校の教育姿勢を明確にする。 学校全体として取り組むテーマを明確にし必要に応じて組織等を整備し、解決に取り組む。	①研修回数や研修内容とその満足度 ②不祥事防止の研修会の実施回数やその内容と職員の意識状況とその結果 ③ ・職員の教育活動への取り組み状況 ・学校説明会等での中学生や保護者の意見

